

ラジオで熊本市の情報を発信中!

RKK(熊本放送)

「とんでるワイド 大田黒浩一のきょうも元気!」内コーナー
毎週月曜日 午前9時半頃～
「小学生の時間」内コーナー
毎週日曜日 午後6時40分～7時(うち20秒間)

FMK(エフエム熊本)

フレッシュ フラッシュ くまもと
毎週火曜日 午前8時45分～
I LOVE WOMAN
毎週火曜～木曜日 午後0時10分～



FM791(熊本シティエフエム)

おはよう熊本市
毎週月～金曜日 午前7時45分～58分
熊本市民あんぜんあんしん大作戦
毎週月～金曜日 正午～午後0時5分、午後6時55分～7時
もっと知りたい熊本市
毎週金曜日 午後1時～1時20分
子どもラジオ局
毎月最終日曜日 正午～午後1時(うち5分間)
声の市政だより
毎月第1第3土曜日 午前10時～10時15分 (広報課 ☎096-328-2043)



いまを生きる。あなたへ(メッセージノート)

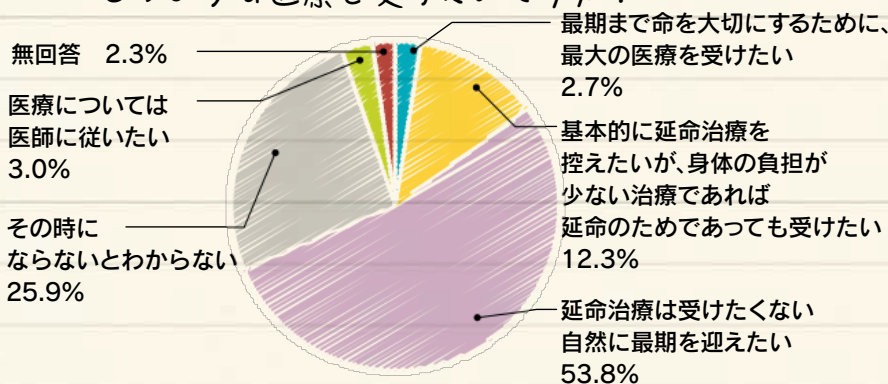
～人生の最終段階に受けたい医療とは～

市民一人ひとりが「人生の最終段階における医療」について理解を深め、自らの人生の最終段階に受けたい医療について考えるきっかけをつくるために、熊本市版のエンディングノートである「メッセージノート」を作成しました。

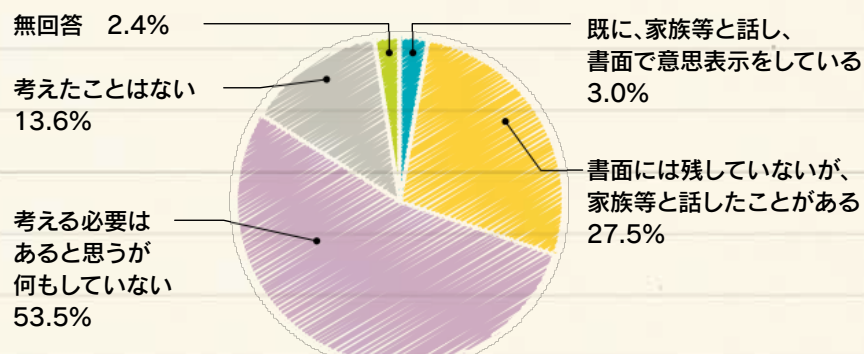


市政アンケート(平成27年12月 回答者1,847人)

Q1) 人生の最期の場面(治る見込みがなく死期が迫った時)でどのような医療を受けたいですか?



Q2) 人生の最期の場面に受けたい医療について、日頃から考えていますか?



約7割の方は、考えたり、家族と話したりしたことがないようです。

『人生の最終段階の医療』とは、病状や衰弱が進み、治療回復の見込みがなく、やがて死を迎える状態になった時の医療を想定しています。

自分らしく人生を最期まで生きるために、これまでの人生を振り返り、これから何を大切にしたいのか、人生の最期をどのように迎えたいかなど元気な時から、事前に考えたり、家族や身近な人たちと話し合ったりしてみることも大切ではないでしょうか?

この「メッセージノート」が、その際のきっかけの一つになればと願っています。人の考えは変わるものです。人生の節目節目でぜひ考えてみてください。

また一口に延命治療といっても、なかなか判断がつかないことも多いと思います。

人生の最終段階の医療については「かかりつけ医」にも相談してみてください。



在宅医療とは、医師、歯科医師、看護師や薬剤師などの医療従事者が、自宅や老人福祉施設などの患者の住まいを訪問して行う医療のことです。

在宅医療の目印になるように、熊本県は右のオリジナルステッカーを在宅医療を行っている病院・診療所・歯科診療所・訪問看護ステーション・薬局に配布しています。

かかりつけ医を選ぶ際、在宅医療の実施の有無も大切な選択肢の一つです。



メッセージノートは、
・区役所福祉課高齢福祉班
・ささえりあ
・医療政策課
でお配りしています!

(医療政策課 ☎096-364-3186)